



流山市議会議員

# 藤井としゆき通信版

ホームページ <https://www.chiba-fujii.com/> メールアドレス [go@chiba-fujii.com](mailto:go@chiba-fujii.com)

## 平成31年3月3日、事務所開所式を開催しました。

当日は悪天候にもかかわらず、前内閣総理大臣の野田 佳彦 衆議院議員や井崎 義治 流山市長を始め、仲間の議員の皆様、また、私を推薦していただいた連合千葉の皆様や、U A ゼンセンの関係者、さらに、地元自治会長やご近所の皆様など大勢の方々にご出席いただきました。本当に心からの感謝を申し上げます。

来賓挨拶では野田前総理から、「藤井さんは、党大会や勉強会では質問や提案を積極的に行い、仲間の議員からも認められている存在である。16年前に初当選して以来の付き合いで、今後も藤井さんのイベントにはできるだけ出席をしたい!」また、井崎市長からは、「藤井議員とは議員同期であり、共に流山改革に取り組んだ同士でもある。一般質問でも先見の明があり、様々な先進事例などを提案、その時点では市の職員から理解が得られないこともあるが、1年後には実現することが多い。」と心強いお言葉の他、多くの方々から激励をいただきました。最後に私からの決意表明として「さらなる市政改革を推進していくこと、また、パートタイマーの方々との意見交換の場を設け、そこでいただいた意見や情報をもとに政策提案をしていくこと」を述べさせていただき、閉会となりました。

今後も、「市民の声をカタチに変えます!」をモットーに精一杯活動して参ります。皆様、引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。



**藤井俊行後援会事務所**

流山市西初石 3-96-2 神戸ヒルズ 101  
 TEL : 04-7155-1760 FAX : 04-7155-1761 携帯 ; 090-3047-2218

前号(3月号)では、最近の政策提案で進んだ項目を掲載しました。  
今号では、過去の大きな政策提案をご紹介します。

つくろう、  
新しい答え。



Democratic Party For the People

## 1 平成 18 年 9 月議会の質問から宝くじの助成金を多くの自治会等が活用するようになりました。

財団法人自治総合センターで実施されているコミュニティ助成事業を、自治会等に周知するとともに、市の協力のもと積極的に申請していきべきではないかと考えます。財団法人自治総合センターの行っている事業の一つにコミュニティ助成事業があり、この事業はコミュニティ活動に助成を行うことによりコミュニティの健全な発展を図るとともに、宝くじの普及、広報事業を行うものです。このコミュニティ助成事業の補助額は、一般的なコミュニティ助成で 100 万円から 250 万円、緑化推進で 50 万円から 200 万円、自主防災組織育成で 30 万円から 200 万円、コミュニティセンター助成では5分の3以内相当か 1,500 万円以内、青少年健全育成助成では 30 万円から 100 万円があります。例えば白石市の場合、自治会を中心に平成 17 年度は 10 件の申請しがあり、10 件とも承認され助成を受けています。その理由は、自治会などからの相談を受けた市の職員が、申請書の書き方などについて丁寧にサポートしたうえで申請書を提出しているからでした。すぐに取り組み可能な市民と行政の協働のかたちではないか、と一般質問した結果。流山市内の様々な団体が活発に申請するようになり、多くの団体が助成を受けられるようになっています。



## 2 平成 20 年 12 月議会の質問で、LED 防犯灯の推進と商店街の街路灯の負担軽減を質問

製造会社を調べ、2 社からの寄付をいただき近隣自治会の2カ所に通常の 32W 相当の防犯灯および、それより大型の防犯灯を設置していただいたことを事例として挙げ、市の担当者に早期導入を提案しました。現在は、商店街や自治会の電気料金の負担が無くなりました。



## 4 こんな政策にチカラを入れてきました

バス停へのシェルター（屋根）設置推進

- ・ 介護士や保育士の処遇改善、老々介護の支援
- ・ 小児救急医療体制の確立
- ・ 太陽光発電など再生可能エネルギーの推進
- ・ EV パワーステーションなど電気自動車の環境整備
- ・ 街路樹の整備など美しい街並づくりの推進
- ・ 信号機や横断歩道新設など安全な街づくり
- ・ バリアフリーの推進（障がいのある方の安全の推進）
- ・ 側溝の土砂流入防止、側溝のふた掛け推進  
(まだまだ記載しきれない項目があります。)

## 3 平成 20 年には国会議員を介して NEXCO 東日本に、常磐高速の防音壁かさ上げを要請

当初、予算が取れないという回答でしたが、常磐自動車道環境委員会の委員から「新たな住宅が建設されたら防音壁を取り付ける」という覚書があるという情報を得て市に要請。NEXCO 東日本の負担で防音壁のかさ上げ工事が実現しました。